

【資料3-1】

報告・評価シート

【報告日 令和 7 年 12 月 29 日】

【評価日 令和 8 年 1 月 21 日】

項目	【事業所記入欄】											
1. 施設概要	事業者名	ララ安倉中		人員配置	安倉中	職種	世話人	5 人	生活支援員	3 人	夜間支援従事者	5 人
	指定日	令和4年6月1日				常勤換算		3.1 人		2.2 人		1.6 人
	所在地	兵庫県宝塚市安倉中4-14-14			新伊丹	職種	世話人	7 人	生活支援員	4 人	夜間支援従事者	7 人
	定員数(共同生活援助)	42 人				常勤換算		4.8 人		3.1 人		3.5 人
	定員数(短期入所)	3 人			西難波	職種	世話人	8 人	生活支援員	4 人	夜間支援従事者	8 人
	共同生活住居数	3 戸				常勤換算		5.3 人		3.3 人		4.7 人
	住居名:	安倉中	10 名		合計		世話人	20 人	生活支援員	11 人	夜間支援従事者	20 人
	住居名:	新伊丹	15 名		看護職員の配置		日中	無	夜間	無		人
	住居名:	西難波	17 名									
	事業所の特色・独自の取組	GHを想定して設計し、新築で建てています。1階は女性専用フロア、2階は男性専用フロアに分かれています。 建物内の階段は昇降機が後付け出来るスペースを設けています。										
2. 利用者状況 (令和7年11月30日現在)	障害支援区分	人数		内訳	主な障碍種別利用者人数(重複はそれぞれ記入)							
	非該当	0 人			身体	総 数:		4 人				
	区分1	2 人				主に日中GHで過ごす人数:		0 人				
	区分2	19 人			知的	総 数:		19 人				
	区分3	13 人				主に日中GHで過ごす人数:		4 人				
	区分4	6 人			精神	総 数:		25 人				
	区分5	0 人				主に日中GHで過ごす人数:		11 人				
	区分6	0 人			難病等	総 数:		0 人				
	合計	40 人				主に日中GHで過ごす人数:		0 人				
	年齢構成	・60歳以上			5 人	・50歳代		10 人	・40歳代		8 人	・30歳代以下
障碍特性等	医療的ケアの必要な者 0 人 強度行動障害のある者 0 人											

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
3.地域に開かれた運営	利用者に対する指定計画相談支援の提供は別法人が行っているか。	(別法人等による指定計画相談支援の提供状況) 別法人等(40)名中 (40)名	■ 問題なし
	実習生やボランティアを受入れているか。	(受入人数) 実習生 3名・ボランティア 0名 外国人実習生の受入を継続的に行い、 2名正式採用しました。	■ 問題なし 日中サービス支援型共同生活援助は地域生活支援の中核的な役割を担うことが期待されていますので、貴法人のこれまでのノウハウを活かし引き続き積極的に受け入れてください。
	地域住民との交流の機会が確保されているか。	(交流機会の事例) 近所のフリースクールの学生さんが、 共同生活援助がどのような所かと、どういった方が利用しているの勉強のためにインタビューに来られたので答えました。 また、近所の清掃ボランティアに参加をしています	今回も、地域連携推進会議に「地域の関係者」が参加されていませんでした。地域にある社会資源の把握や、地域住民への障碍(がい)理解の啓発のために、引き続き積極的に交流をお願いします。
4.常時の支援体制の確保	日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	(職員の配置状況等) 24時間365日職員を配置しています。また、管理者が24時間緊急対応の電話を受けています。	■ 問題なし
	災害時における、利用者への安全対策(マニュアル作成等)を講じているか。	(安全対策(マニュアル)や避難訓練の実施等の事例) 専門業者による消防機器の確認を行い、消防計画、洪水時マニュアル、BCPを作成し、それをもとに避難訓練を行っています。	■ 問題なし 地域の防災訓練に参加するなど、自助・共助を意識した取り組みを行ってください。
	体調急変等への支援体制が確保されているか。迅速に対応したか。	(緊急時の対応方法(急な体調変化等) 高熱が出た際や救急車等の緊急搬送の際は管理者又は職員が病院まで付き添っています。 また、すぐに訪問看護に連絡し、関係機関と連携を取っています。	■ 問題なし

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
	利用者の嗜好を考慮した献立を基本とし、それぞれの心身の状況に応じた食事提供・支援しているか。	(心身状況等を考慮した食事提供) 朝食、夕食共に全て手作りで提供を行っており、体調の変化に合わせて食事量を減らしたり、必要に応じてミキサー対応や食事を細かく切り、食事介助を行います。	■ 問題なし
5.短期入所の併設	地域で生活する障碍(がい)者を積極的に受け入れているか。	(通常受入可能人数) 3名 (1年間の実績) 7名	身体障害の方についても、基幹相談支援センター等の相談支援事業所からの相談を積極的に受け入れてください。 <u>玄関の段差等に身体障害の方への配慮が不十分です。組織内でできうる範疇で改善をお願いします。</u>
	緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。	(緊急受入可能人数) 3名 (1年間の実績) 3名 (緊急受入事例) 虐待案件で尼崎市と伊丹市から1件ずつ、家族との折り合いが悪いとのことで宝塚市在住の方から緊急での受け入れ要請があり対応しました。	■ 問題なし
6.支援の実施・質の確保	充実した地域生活を送るため、外出や余暇活動等の支援をしているか。	(外出や余暇活動等の事例) 他の利用者との交流を図るため、クリスマス会やハロウィンなどのお節や節分にちなんだ食事を提供したりなど、季節ごとのイベント活動を行ったりしています。 また、外出の日数などには制限を設けておらず、意思決定支援をもとに本人の希望をある程度門限も遅めに設定をして外出を促しています。	本人が充実した地域生活を送るためには、 <u>意思決定支援の考え方を中心に関係機関と連携する仕組みの検討及び実施に努めて下さい。また、地域との連携による社会資源の把握に努め、日中支援が画一的にならないように配慮してください。</u>
	支援の質の確保に努めているか。(研修等)	(参加した研修名等) 障害者虐待防止・権利擁護研修(44)名 意思決定支援の研修(2)名、介護職員初任者研修(4)名、サービス管理責任者(3)名	<u>特定の職員に比重がかかり、支援の質や判断等が属人的になっている様子が伺えます。職員同士が意見交換する場の設定、OJT等の導入を検討し、組織全体の支援の質や判断等向上に努めてください。</u>

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
	体験的利用の要望に対応しているか。	(体験利用人数) 昨年体験者数 21人 (体験利用の事例) 今まで母親と暮らしていましたが、緊急入院を することで1人で自宅で過ごすことが困難となり 急遽GHに体験入居することになりました。	☒ 問題なし
	改善や見直しに取り組んでいるか。	(事業所における課題・助言を求めたいこと) 知的と精神、自閉症と知的など、症状が重複 している利用者さんでご家族が深くかかわって 下さっている場合、ご家族が亡くなられたときに 亡くなったことの理解が難しく突然家族がGHに 来所しなくなったことに対して理解の難しい 利用者さんへの対応はどの様にされてますか？ 例えば、亡くなったことを何度も説明するや、 家族が来ないことを思い出した時に、 本人の好きな事で気を紛らわせるなど、 実体験のご意見を伺いたいです。 (利用者・家族からの意見・希望) 実家にもっと外泊をさせて欲しいとありましたが、 (現状、毎月2週間は帰宅している状況) 本人はご兄弟から虐待を受けていることもあり、 関係機関と担当者会議を繰り返し行い、お母様の 理解への支援も同時並行で行なっています。	<u>本人が充実した地域生活を送るためには、意思決定支援の考え方を中心に関係機関と連携する仕組みの検討及び実施に努めて下さい。また、地域との連携による社会資源の把握に努め、日中支援が画一的にならないように配慮してください。</u>

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
7.利用者の 権利擁護等 への配慮 について	利用者の金銭管理については、本人同意の上、帳簿等により適切に管理されているか。また、判断能力が著しく低い利用者については、成年後見制度の利用等の支援を行っているか。	(金銭管理の支援方法) 社協の金銭管理支援、成年後見人制度を活用して定期的にお金の受け渡しの訪問を行ってもらい、弊社も金銭管理の人から預かったお金を銀行等で両替し、小袋に分けて自室の金庫で保管をしてもらい、金庫の開閉の見守りや残金確認を毎日行うなど、利用者に合わせた支援を行っております。 (成年後見制度の利用支援及び利用者数) ・利用支援事例等(☒有 ☐無) 成年後見人利用者数 8人、社協利用者数 12人 家族の希望もあり、後見人制度を利用することになりました。	■ 問題なし
	利用者のプライバシーに配慮した支援となっているか。(個人情報の管理、複数の選択肢の提供、自己決定・家族の合意等)	(利用者に配慮した支援、取組み) 個人情報は鍵付きの棚に保管しております。複数の選択肢の中から自己決定出来るよう、言葉だけでなく、感情カードを取り入れたり、指さしなどの視覚的な支援を取り入れています。	本人が充実した地域生活を送るためには、意思決定支援の考えを中心に関係機関と意見交換し、本人の選択肢が広がるように、仕組みを検討及び実施に努めて下さい。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
	虐待等の権利侵害の防止、発生時の対応は適切か。	(虐待等に関する研修の受講状況) 厚生労働省の虐待防止研修の動画を職員全員が視聴し、メンバーをわけて社内研修を行ないました。また、外部研修にも受講しに行っています。 (虐待発生時の対応、発生後の対応等) 虐待を受けている利用者の安全確保を優先し、速やかに、虐待防止受付担当者、施設管理者、市町村に通報する。 発生後の対応は、虐待防止及び発生時対応マニュアルを基に、事実確認と再発防止策の検討を行い、記録にまとめ市町村に報告を行う。	■ 問題なし 職員同士が意見交換する場の設定、OJT等も検討してください。
8.入居/退去状況について	報告/評価対象年度中において、退去理由の確認及び入居時に適切な判定(流れ)が行われているか。	(報告・評価対象年度の入居者数) 13人 (報告・評価対象年度の退去者数及び事由) ・退去者数 12人 ・主な退去事由:一人暮らしをすることになった ・サテライトを希望して移動した ・GHでのルールが守れず退居になり、他のGHへ移動となった。 ・実家に帰ることになった。	■ 問題なし やむを得ない退去もあるかと思いますが、関係機関と適切に情報共有し、退去後の生活についても相談支援事業と協力する支援を検討してください。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
9.他の日中活動サービスの利用	GH内でどのような日中サービスを提供しているか。	(日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの提供) 居室でお絵描きをしたり、タブレットでYouTubeを見て籠ってしまったりするので、リビングに誘ってお話をしたり、散歩へ行くよう促して移動支援の利用に繋がったりしています。 また日々声をかけを行ない、気持ちが作業所へ向くようにお話をしています。	本人が充実した地域生活を送るためには、意思決定支援の考え方を中心に関係機関と連携する仕組みの検討及び実施に努めて下さい。また、地域との連携による社会資源の把握に努め、日中支援が画一的にならないように配慮してください。
	他の日中活動サービスの利用を妨げていないか。	(他の日中活動の利用状況) 他の日中活動サービスを利用(40)名中(40)名(うち11名が主に日中で過ごしている。) (主な他の日中活動サービス種別・利用先) 一般就労、生活介護、就労継続支援B型、A型、就労移行	■ 問題なし 本人が充実した地域生活を送るためには、意思決定支援の考えを中心に関係機関と連携し、実施に努めて下さい。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
10.利用者の 健康管理	日々の利用者の健康管理をしっかり 行っているか。	(医師や看護師の訪問有無及び頻度) 各利用者が個人的に看護の方や医師と契約 をして、週3日等の訪問の依頼をされています。 また、26年2月に看護師を雇用予定です。 (健康チェック方法について) 弊社では、検温、声かけ、食事の量、顔色等 で確認をしています。	■ 問題なし
11.他事業所 との 連携	相談支援事業者や他のサービス事業所 との連携を行っているか。	(具体的な連携状況の事例について) 相談支援、日中活動先、移動支援、訪問看護、 病院、各市役所との連携を取り、 気になる変化等があれば 情報共有や情報交換をしています。	■ 問題なし 気になる変化がない場合でも、定期的な情報共有 を行う仕組みを関係者と検討してください。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
12.その他	<独自に定める項目を記載> 食事提供について	食事も体調管理の一環として提供していますが、朝食を取りたがらない人が増えてきています。朝食を自由にすることで生活リズムの崩れや、バランスの悪い食生活を繰り返す人がいます。こちらとしては食事提供を出来るだけ行いたいのですが、個人の自由を考えた際に強制は出来ないことから、食事も体調管理の一つだからと日々お話納得をしてもらいながら、本人のストレスにならない範囲でキャンセルも受付をしています。	■ 問題なし
13.(2回目以降)協議会からの要望、助言への対応	要望や助言に対応しているか。	(要望・助言の内容及びその対応) 利用者さんでも高齢化を進み、以前より理解力が低下されてきたと感じる利用者さんがこの1年で増えてきたと感じております。 認知症の初期症状(深夜帯の徘徊)などが見受けられ、本人にGPSを持参してもらったりはしていますが、先日GPSを持って出るのを忘れたため、靴に埋め込むタイプなども検討しています。	①個別ケースで対応に苦慮されていることがわかりました。本人中心支援について、関係機関との定期的な情報共有、支援目標の設定、解決に向けた役割分担、支援の評価についての仕組みの検討をお願いします。 ②前回と同様、区分の低い利用者や日中活動ができる利用者の利用が多い傾向があります。重度化・高齢化を見据えた福祉サービスになりますので、施設のバリアフリー及び関係機関周知、関係機関や地域との連携を深め日中支援の更なる充実の検討をお願いします。